

令和7年度 外国人 介護人材 受入支援研修

HOKUTO AC.

定員**100名**
(先着順)

○介護現場で必要とされる基本レベルの知識及び現場で活用できる日本語のカリキュラム

介護は基本として「介護とは何か」「自立とは」「尊厳とは」「体の構造」「認知症」などを学びます。

また「自立支援・重度化予防」の介護理論と実践についても随所に盛り込んでいます。

日本語は言葉の意味、発音など基本的なことから学び直しをし、JLPT-N 3 相当まで引き上げることを目標にしています。

対象者	道内の介護サービス事業所において勤務する①または②の外国人 ①外国人技能実習生（介護）②1号特定技能外国人（介護） ※外国人介護福祉士は、受講対象となりません。
開催期間	令和7年9月～令和8年3月まで
開催日時	介護・日本語 毎週各コース1回 17:30～18:30 曜日、時間は申し込み数によって変更 介護の授業は全12回 日本語の授業は全15回の予定 ※9月開講を予定していますが、申込状況により、受講開始時期、日時を調整しますので、詳しくは下記にお問い合わせください。
研修方法	オンライン形式・対面研修と合わせたハイブリッド形式で研修を実施します。 ※オンライン授業では「ZOOM」を使用して行います。またZOOMを使用した講義ではWEBカメラやマイク等が必要となります。 ※オンライン授業に適したインターネットの接続環境、および接続準備等は各事業所でご準備をお願いします。
研修講師	北斗文化学園北海道福祉教育専門学校 自立支援介護福祉学科介護教員、日本語教育課程日本語教師
受講料	無料 ※テキスト代及びインターネット接続費用等は各事業所負担となります。

北海道福祉教育専門学校について

本校自立支援介護福祉学科は、自立支援介護の第一人者・竹内孝仁先生を学術顧問にお迎えし、自立支援ヘシフトチェンジを始めた介護保険制度に対応できる介護福祉士を養成しています。本校学生は日本人だけでなく、ベトナムやミャンマー台湾などの外国人留学生も多く、日本人学生と共に介護福祉士を目指して学んでいます。2025年1月実施の介護福祉士国家試験では、合格率6年連続 100%という結果でした。留学生に対しても、早期から国家試験を意識した授業を展開しています。本研修においても、自立支援介護福祉学科教員が携わりますので、自立支援や介護保険制度、介護福祉士国家試験を意識した研修内容となっております。

日本語教育では、令和2年に法務省告示日本語教育機関（日本語学校）の認可を得ております。法人内に、北斗文化学園日本語教育研究所（所長：中川かず子 北海学園大名誉教授）を設置し、文化庁事業「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」も北海道で初めて受託するなど、日本でトップクラスの日本語教育をおこなっております。

自立支援介護

留学生
多数在学中！

外国人教育
体制充実！

法務省告示
日本語教育機関

道内初！
文化庁事業受託

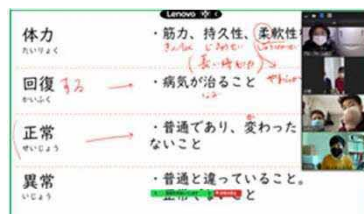
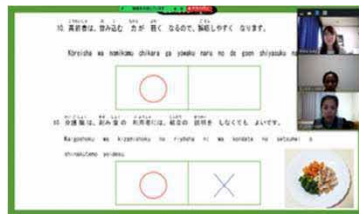
受講イメージ

介護の
技術・知識

（オンライン・対面）

介護の
日本語

（オンライン）



申し込みの流れ

まずは、お電話・メールにてお気軽にお問い合わせください。

① 受入状況の聞き取り

在籍する技能実習生や特定技能外国人の受入状況をお聞かせください。（日本語や介護のレベル、施設様での困りごと 等）

② 研修参加申込み

必要書類にご記入いただきご提出をお願いいたします。

③ 接続テスト

インターネット環境の確認のため、双方向通信システム「ZOOM」を使用し、接続テストを行います。
この時までには、受講に必要なPC、カメラ、マイク、インターネット回線等を用意してください。（これらは施設様負担）

④ 研修スタート

研修時間中は、必ずしも日本人職員様が付き添う必要はございません。時間中は完全にお任せいただいて構いません。
スムーズに研修開始ができるようインターネットに接続する作業は、施設様のご協力をお願いします。

⑤ 研修修了

受講生には、最終日に初回と修了時の比較するための確認テストを行なっていただきます。
また、施設様には受講にあたってのアンケートのご協力をお願いしています。

お問い合わせ・お申込み

<お申込みは、勤務先施設ご担当者様がお願いします>



学校法人
北斗文化学園

北海道福祉教育専門学校

北海道室蘭市母恋北町1丁目5-11

担当：辻

TEL：0143-22-7711 E-mail：kaigo3@hokuto-bunka.ac.jp